3　京急川崎駅周辺地区まちづくり整備方針の位置付け

川崎駅周辺総合整備計画における京急川崎駅周辺地区の位置付け、ならびに京急川崎駅周辺地区に関連する上位計画について整理をします。

○広域的拠点である川崎駅周辺地区の将来を見据え、駅東西両地区の回遊性・利便性の向上、バリアフリー化の促進、放置自転車対策などの諸課題に対応するため、「川崎駅周辺総合整備計画策定協議会」を設置し、2006 年 4 月に「川崎駅周辺総合整備計画」を策定しました。

○「川崎駅周辺総合整備計画」では、川崎駅周辺地区のめざすべきまちづくりの方向性を示す５つの基本方針と９つの基本施策が右図のとおり位置づけられ、その基本施策に基づいて、これまで東口駅前広場の再編整備や、ＪＲ川崎駅における北口自由通路の整備といった施策が実施されてきました。

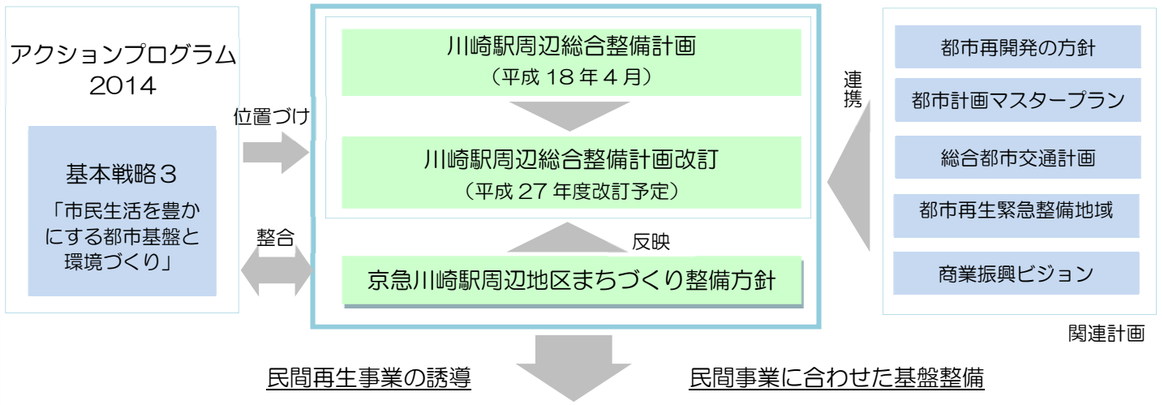
○京急川崎駅周辺地区は、川崎駅周辺総合整備計画の基本施策「⑴再開発の推進」において「京急川崎駅北側街区の適切な土地利用の誘導」、基本施策「⑵回遊性の向上」において「歩行空間や道路横断の環境改善・駅東西連絡の強化」を課題施策として取組むことが位置付けられています。

○平成 19 年度には地区内の権利者等にアンケートを実施するなど民間再開発事業の誘導に取組んできましたが、老朽化した建物や低利用の土地が残るなど、有効に土地利用転換が図られていません。

○そのようなことから、当地区において、「京急川崎駅周辺地区まちづくり整備方針」を定め、民間再開発事業の促進と都市基盤の推進を計画的に行うことで、川崎の玄関口にふさわしい活力と魅力にあふれたまちづくりの実現を目指します。

○「川崎駅周辺総合整備計画」や関連する上位計画などとの関係を下図のとおり整理するとともに、当地区の整備方針は、2015 年度に改定が予定される川崎駅周辺総合整備計画に反映します。

○京急川崎駅周辺地区まちづくり整備方針と関連計画との関係



※　関連計画における川崎駅周辺地区の位置付けは「５　参考資料」に掲載しています。

○川崎駅周辺総合整備計画における基本方針及び都市構造図

【基本方針】

これまでのイメージを一新する風格ある川崎の新たな顔づくりの実現

①広域的拠点形成と地域連携のまちづくり
- ○都市拠点としての整備と機能強化
- ○羽田方面を含む臨海部地域との連携強化

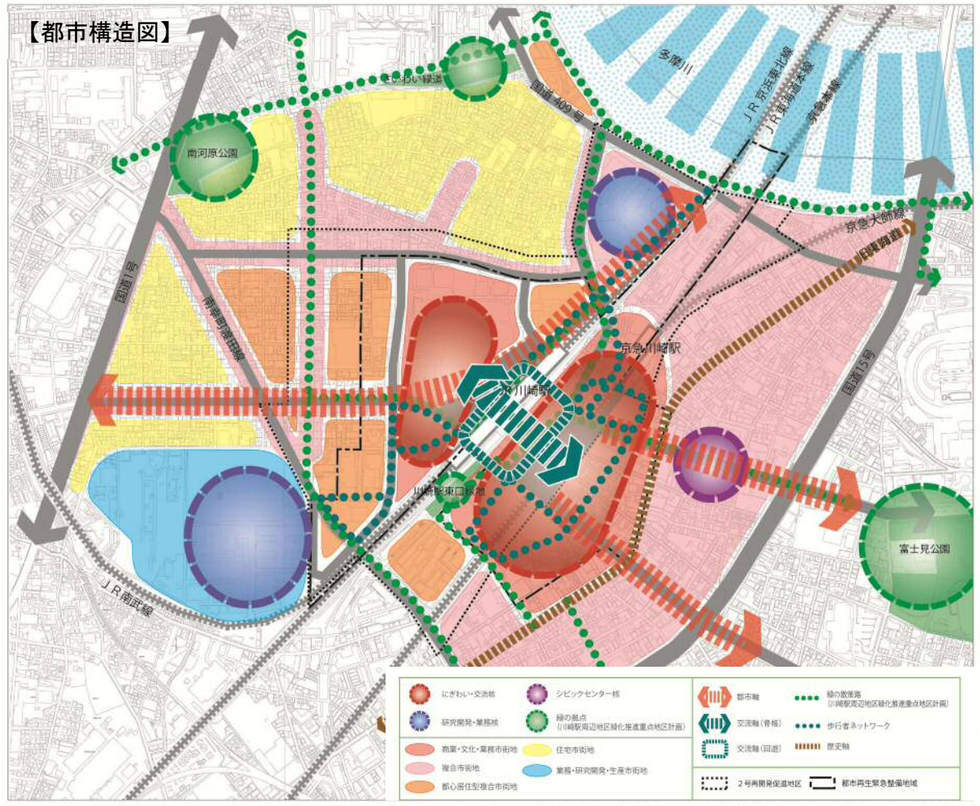
②地区内を往来しやすいまちづくり
- ○駅東西地区の一体化・回遊性強化
- ○良好な交通結節点整備

③人と環境にやさしいまちづくり
- ○人にやさしい、うるおいある都市空間づくり
- ○人と環境に優しい交通環境整備
- ○少子高齢社会に対応した環境づくり

④個性的で賑わいのあるまちづくり
- ○川崎らしい街並み、景観形成
- ○身近にある賑わいと活力に満ちた商店街の形成

⑤市民協働のまちづくり
- ○エリアマネジメント導入によるまちづくり

【基本施策】

⑴　再開発の推進
⑵　回遊性の強化
⑶　交通結節点整備
⑷　周辺道路、交通環境の整備
⑸　少子高齢社会への対応
⑹　自転車対策の推進
⑺　都市景観の形成
⑻　環境美化の推進
⑼　商業活性化の推進

【都市構造図】